

全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 6 月度理事会議事録

平成 21 年 6 月 17 日 (水) 午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 42 クラブ (欠席 2 クラブ)

■吉本協会長挨拶

先日のクリーンアップ活動については大きな成果が上がり、参加していただいた皆さんには暑い中ご苦勞様でした、初めての活動でしたが詰めが甘かった所もあったかと思ひます、連盟からは毎年行うようにとの指示がありますので、来年については計画を立て直す必要があると考えていますので皆さんよろしくお祈りいたします。

- ・藤原副会長を議長として 19 時 5 分議事に入る。

第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟 6 月度本部役員会報告 (池田副会長)

(連盟議事録から転載)

大石専任副議長を本会の議長として指名する。最初に岩田連盟会長より、45 周年記念誌の第 1 回編集会議に関する件とともに、今月催される二行事がスムーズに運営されるよう、実質的な審議をしていただきたいと挨拶がある。

また、訃報として、元本部会計として多大なご尽力をされていまして関西投友釣クラブ所属の宮崎莞爾氏(75 歳)が 2 日お亡くなりになりました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

■審議 1 SC 春季通信大会成績報告&選手権について 本部 SC 部

- ・成績表の配布があり、訂正箇所の有無などの確認作業がおこなわれた。
尚、レク保険料の未納が 1 協会あるので、全体精算ができない。該当協会には早急に納めるよう要請があった。(成績はホームページにも掲載しています)
- ・10 月 18 日に開催する SC 選手権大会ですが、参加の申し込み名簿は PJ の香川協会まで 9 月 6 日必着のことと発表があった。
- ・谷後兵庫協会会長より、発音体(ビーバー)は接地しており、スプリング部分が一番ダメージを受ける。他は殆ど異常無いので、この部分のみ販売していただけないかと質問がある。
- ・松井 SC 部長はメーカーと交渉した結果、ある程度纏まった販売単位になるが可能とのことです。安価なものですから、早急に販売体制をとります。
- ・昼食弁当では、大会の都度用意の有無があると苦情を聞く、次回選手権大会から、弁当代(1,000 円お茶とも)込みの参加費にし、全て本部で用意したい。
- ・ジャパンスポーツキャスティング連盟主催の大会要項の配布があり、参加希望の協会は 6 月 21 日必着で、松井 SC 部長まで申し込んでください。
- ・北海道協会が主催する SC 競技大会の参加申し込みは直接、主催協会までおこなってください。
(主催協会は参加名簿を本部 SC 部に提出すること)

■審議 2 第 90 回全日本キス投げ釣り選手権大会 PJ 北九州協会

- ・参加申し込みの詳細は 230 クラブ、2032(女/少 42)名であったと発表された。
- ・これに基づき、表彰は 20%の 406 名(本賞 325 位/他魚 81 位)とし、盾の授与は 122 賞(本賞 98 位/他魚 24 位)。また副賞である釣具は本賞 40 位、他魚 10 位までの参加者に進呈する。尚、同寸・同匹数は権利を有します。

注)ホームページの速報コーナーに本賞、他魚とも上位 3 名に掲載された方は希望賞品の権利を有する可能性が濃厚です。広報部からの連絡は 7 月 9 日、10 日の二日間でおこないます。但し、行き違いも想定されるので、広報部から連絡が無い場合、権利者自身でも連絡するよう、心構えをしておいてください。(本部広報 渡部裕司 090-3188-1173)

- ・大田事務局長より、宮城協会 3 名の会員番号が違っていた。それらの処理について確認がある。
- ・PJ では途中と言うこともあるので、今回はそのまま進めると回答。

- ・関連として、氏名と会員番号の違いについて、年初本部に登録する時点で間違っているため、本部提供の検索名簿と大会参加名簿とが合致しない。したがってデーターを提出する際、協会(クラブ)段階で良く確認することが重要であると指摘があった。
 - ・連盟会長より、全協会が担うことになった PJ の負担軽減を図るため、参加案内や参加費の受け取り、バッジ関連や副賞品(釣具以外)の手配など事務作業に専念いただく。また、事務経費は仮払金として本部から、PJ に先渡しする。詳細は 7 月常任理事会で説明いたします。
- 審議 3 第 32 回東西選抜投げ釣り 100 人の会 PJ 本部/北陸協会
- ・5 月 31 日に参加申込みを締切った。参加内訳では、選手 115 名と役員 15 名。また関係先では 15 社 21 名(選手 5 名)の参加申込みがあった。
 - ・競技については地区を大別して東軍 60 名、西軍 58 名と選別し、5 ブロックにて予選をおこなう。決勝は各ブロックより東西各 4 名の合計 40 名が進出し、予選で使用した連続 3 ブロックにておこなう。
 - ・今大会から、決勝進出者を 30 名から 40 名に 10 名増やしている。これは予算案に基づく判断であり、表彰関係にもボリュームアップを図っている。
 - ・競技委員長の三上北陸協会会長から、競技大会の本部はブロックの中心付近に設営するが、それとは別にゲスト用として駐車場付近にもテントを設ける旨、発表があった。
 - ・連盟会長より、各ブロックの審査委員を北陸協会から選出してほしいとの要請がある。但し、人員不足の場合は本部からも選出を考えるとのこと。
- 審議 4 クラブ対抗キス投げ釣り選手権大会 PJ 大阪協会
- ・バッジデザインは大阪協会から、1 名の応募だけであった。したがって決定はこの作品になるが 7 月常任理事会に於いて発表し、承認を得たい。
 - ・連盟会長より、市長表敬は 5 月理事会の前日に予定していた。しかし、先方の都合で延期していた。このたび 6 月 16 日に訪問することで決定した。今回は事務局長も同行する。訪問内容の報告は 7 月常任理事会でおこないます。
- 審議 5 45 周年記念誌について 渡辺記念誌編集長代理
- ・メンバー紹介 岩田連盟会長(編集長)/大田事務局長/渡辺編集長代理/野村本部会計(欠席)/谷後事故防止部長/帷企画部長/としだ大物部長/渡部広報部長/松井 SC 部長。尚、オブザーバーの出席は編集メンバーが指名する。
 - ・渡辺編集長代理(以下、渡辺代理)より、記念誌製作小委員会の初会議の報告があった。まず目次項目とメンバーの役割分担をおこなった。基本内容は過去の記念誌を参考とする。
 - ・表紙は 10 年、15 年、25 年の記念誌のように写真掲載をするか 30 年、40 年の記念誌と同様にシンプルなものにするか今後の審議とした。構成内容の詳細については編集会議を経てその都度報告する。
 - ・協会長の祝辞(挨拶)については「10 年後の全日本サーフをビジョンする」テーマで 300~400 字程度にまとめ、7 月末を目途に提出願いたい。
 - ・上記項目およびそれ以外についても、事務局長をはじめ各担当者から依頼内容を文書にして要請いたします。
 - ・渡辺代理より、原稿はデーターで提出することを基本に願うと要請された。
 - ・販売対象は 2010 年度の登録会員とし、価格は 1 冊 1,000 円となる見込み。
 - ・連盟会長より、記念誌に各協会の旗を掲載する予定です。本日出席の 9 協会には協会旗はあるとのこと。7 月開催の常任理事会でも確認するが、協会旗を未製作の協会さんには、強制するものではありませんが、協会のシンボルであり、団結力の源となるものです。この機会に製作をお勧めいたします。
- 審議 6 大物バッジの将来について としだ大物部長
- ・バッジの発送は従来から、大物部の発注明細を基に業者さんが仕分けして協会宛に発送していた。しかし、余りにも間違いが多く、一向に解決の兆しが無いまま推移していたので、業者サイドでは解決が困難になっている。やむえず、完成品のバッジを大物部まで取り寄せ、08 年度の未発送分を業者さんに代わり整理し、発送している。現在では不在号数の 200 個ほどを残して発送は完了した。しかし、これは一時しのぎのことであり、根本的な解決ではない。今後も

大物バッジの号数違いや未発送バッジの状況は悪化しても改善される見通しは薄い。

- ・取りあえず今後も、としだ大物部長宅に完成品のバッジを引き取ったうえで、仕分け作業をおこない、業者さんには不在号数のバッジのみ製作するよう、依頼をおこなう。全体の解決策それに並行して考えたい。
- ・連盟会長の見解では、現在の業者さんは年齢的に見ても、過去のような運営状態を維持することは難しいと思う。根本的な改善の近道は新たな業者さんを探すしかないだろう。遅きに失する感もするが、長年のお付き合いを考慮して本部もお手伝いできる部分は助力してきた。しかし、これにも限界がある。何よりは申請料を払っているにも関わらずバッジが届かないことが最大の弊害である。更に、業者さんが「もう出来ません」と通告してくる可能性も皆無ではない。それから、解決策の審議をすることは現実的ではない。各協会さんにもバッジ製作の業者さんに心当たりがあればご紹介願いたい。

■審議 7 その他

- ・SC 協会対抗戦の収支に関し、PJ の蔦広島協会長より、事前に監査を受けるため、収支報告書を宗貞監査役に提出した。したがって承認は 7 月常任理事会にて得たいと報告された。
- ・第 91 回全日本カレイの PJ に決まっている山口協会、宗貞協会長より、少し早い感もするが現在までに 6 協会から会場申請があった。6 月末が申請期限で、若干日数もありますので、よろしく申請願いますと要請があった。
- ・全日本サーフが重点をおいているクリーンアップ事業について大田事務局長より、「清掃実施予定表」を全協会に送ったので、必要項目を記入して返送するよう、要請があった。
- ・連盟会長より、マナー精神の欠如した釣り人のため、遵守している多くの釣り人が不利益を蒙る。理不尽なことではあるが、全日本サーフでは大局的な見地から、クリーンアップ事業を推進している。そのシンボルとなる横断幕ですが、未だ申請のない協会があると聞く。本部進呈ということなので、是非申請するようお願いする。再度事務局長より申請の要請をおこなう。
- ・連盟会長より、以前設けていたコーチ制度だが、釣り人育成の観点から復活を構想している。についてはコーチの選出方法や過去のコーチが担っていた以上に範囲を広げた具体的役割内容を今後の常任理事会で審議する。

■日本記録魚 2 件承認

魚 名	ヒラスズキ	長 寸 実寸	87.9 センチ	拓寸	92.0 センチ
釣り人	筒井博文 氏	所 属	愛媛協会	燧倶楽部(ひうちくらぶ)	
釣り日	平成 21 年 4 月 28 日	釣り場	愛媛県宇和島市		

魚 名	ババガレイ	長 寸 実寸	62.6 センチ	拓寸	65.7 センチ
釣り人	中澤貴也 氏	所 属	千葉協会	千葉サーフ	
釣り日	平成 21 年 5 月 10 日	釣り場	岩手県宮古市		

第 2 号議案 大阪協会「第 5 回オープン大会」の報告（協会長）

この大会の目的は、会員以外の方に参加をして頂き、会員になって頂くのが一番の目的である、この 5 年間に何人の方が会員になってもらえたかを検証する必要がある。この大会への参加申込は、ほとんどがクラブを通じての方であるので、各クラブで勧誘をして頂きたい。協会としても 9 月～10 月にかけて副会長と相談し会員になって頂くための方策を提案する予定であるのでよろしくお願したい。

第 3 号議案 「クリーンアップ活動」の報告（池田副会長）

6 月 13 日（土）に淀川にて開催された協会主催の「クリーンアップ活動」の報告があった。当日は暑い中ご苦労様でした、朝 9 時から 11 時までみっちりやっ頂き有り難うございました。当日は、26 クラブ・65 名の方に参加して頂きました、当日気づいた事としては、下見の時にはあまりゴミは無いと思ったのですが、実際はすごい量のゴミが集まりビックリしました。ゴミの処分について少しトラブルがありましたでしたが解決しました。当日の、駐車場料金については本日精算しますので会計の野村さんの所へ領収書を持ってきて下

さい。来年は、日程を考えて参加者が増えるように検討しますので、協力をお願いします。

第 4 号議案 全日本キス大会について（事務局）

次の、日曜日に開催されるが、今回からラッキー賞の抽選がありますので、必ず個人で審査票を審査会場まで持って行って下さい。

第 5 号議案 クラブ対抗キス大会について（協会長）

昨日、私と連盟会長、連盟事務局長、伊達さんと京丹後市へ行ってきました、今年は担当者が変更になっているが、参加者数が決定されれば京丹後市へ予算に基づいて賞品を依頼する予定であるのと、他協会の参加者からの要望である釣場への道が分かりにくいとの事を伝えたところ、京丹後市の方で地図を作成して頂く事になりました、それと釣場への入口には、全日本サーフキャスト連盟の「のぼり」を立てる事にします。

第 6 号議案 全日本カレイ選手権大会について（事務局）

11 月 15 日開催の全日本カレイ選手権大会の会場申請について PJ の山口協会より依頼があり、各クラブに確認するが、どのクラブからも申請が無く、大阪協会としては、申請しない事で承認を得た。

その他

- 協会のホームページについて、更新しているので見てほしい旨連絡があった。
- SC 部より、連盟の友好団体であるジャパンスポーツより 7 月 12 日静岡県で開催される大会案内について報告があった。参加希望者は今週中に小山 SC 部長まで連絡をすること。10 月の連盟 SC 大会については、4 月の協会通信大会の成績により、声を掛けさせて頂く旨報告があった。
- 協会クラブ混合キス釣り大会については、7 月理事会で申込を受け付けます。
- 連盟が発行しているネームシールが 8 月から値上げになるので、必要な方は 7 月の理事会までに資材部まで申込をして下さいとの連絡があった。
- ホームページのクラブ紹介についての変更がある場合には、データにて管理宛までメール報告して下さいとの連絡があった

20 時 00 分閉会